

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 警察当局が発表した2020年度第1四半期(2020年4月～6月)の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は42,836件であり、前年度の第1四半期と比較して9.6%の減となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	156件(前年比5.4%増)
強盗	546件(同1.3%減)
強姦	118件(同11.3%減)
未成年への性的暴行	443件(同3.0%増)
麻薬関係	212件(同35.9%増)
暴行	14,564件(同5.2%減)
窃盗	13,317件(同11.9%減)
恐喝	6,078件(同0.9%増)
詐欺	3,194件(同36.4%減)
器物破損	2,918件(同0.7%減)
傷害	1,047件(同11.8%減)
不法侵入	243件(同23.3%減)
合計	42,836件(同9.6%減)

2019年度第4四半期の報告に引き続き、全体的に犯罪件数が減少しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比9.6%減という結果となりました。新型コロナウイルスの発生により3月末からガーナ政府によって外出禁止措置等が実施されたことも減少の要因とみられます。しかし、今年12月には大統領選挙を控え、治安状況が悪化する可能性も否定できませんので、皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」、「安全の手引き」を参考に防犯対策並びに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪(邦人被害)

なし

(3) 凶悪犯罪(外国人被害)

・6月19日夜9時頃、建設中であったナイジェリア高等弁務官事務所の館員用住居がブルドーザーで破壊される事案が発生しました。当日、ナイジェリア高等弁務官事務所の館員が若干名敷地内にいましたが、拳銃等で脅された模様です。後日2名が逮捕され、同建物を建設するにあたって、土地所有権者と揉めていたことが判明しています。

2. テロ・爆弾事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されていません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されていません。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上